

えちぜん 議会 だより

vol.56

2019.6.1



しだれ桜まつり



スカイランタンと夜桜（越前陶芸村）

主な内容

- 議長あいさつ・議会構成 2～3
- 3月定例会報告 4～5
- 3月定例会提出議案等 6
- 第1回臨時会報告・提出議案等 7
- 一般質問 8～13
- 議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況・自治功労賞受賞 14
- 行事あれこれ 15
- がんばってます！・編集後記 16



越前町

人と技 海土里織りなす快適なまち

議会の方針について



越前町議会議長 青柳良彦

青葉の美しい季節とともに、令和の新时代を迎え、町民の皆さまにはご清祥にお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

去る4月12日の越前町議会臨時会において、不肖ながら私が議長という大役を仰せつかりました。その責任の重さを日々痛感するとともに、強い意欲も湧き出てまいりました。さて、「令和」は、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいという願いを込め、決定されたと伺っております。

様々な問題を抱える町の行財政ではありますが、町民の皆さまが少しでも令和の願いに近づけるような町を目指し、米沢副議長とともに、議員各位の協力のもと、まちづくりに取り組んでまいる所存です。また、議会と町民

の皆さまとの距離を縮めるため、情報発信のあり方や町民の皆さまが議会や議員に対してどのような印象を持っているのかなど、課題や問題点を充分把握して「役に立つ」と実感される議会を目指してまいります。

イソップ童話の中に、牛乳の壺の中に落ちた「三匹の蛙」という話があります。一匹目の悲観主義の蛙は、何をしてもどうせだめだからと考えて、何もせずに溺れ死にました。二匹目の楽観主義の蛙は、何もしくなくとも結局うまくいくだろうと考えて、何もせずに溺れ死にました。三匹目の現実主義の蛙は、今できることはものがくことだけだと考えて、もがいているうちに足元にバターができて、それをよじ登って壺の外へ逃げることで済みました。越前町議会も、皆さまから「役に立つ」と実感されるようになるには、三匹目の蛙にならなければなりません。いろいろな方策を考えて、実践しながら目標に近づいて行きたいと考えております。

町民の皆さまに、何かとご協力を仰ぐことがあると思いますので、その節は是非ともご協力をお願い致します。

越前町議会構成

◎：委員長 ○：副委員長

議長
青柳良彦

副議長
米沢康彦

常任委員会・特別委員会委員

総務文教厚生常任委員会（7人）	
◎ 笠原 秀 樹	○ 南 ゆかり
木 村 繁	青 柳 良 彦
齋 藤 稔	佐々木 一 郎
高 田 浩 樹	

産業土木常任委員会（6人）	
◎ 藤 野 菊 信	○ 北 島 忠 幸
吉 村 春 男	伊 部 良 美
田中 太左工門	米 沢 康 彦

監査委員（議会議員選出）

監査委員（議会議員選出）
北 島 忠 幸

議会運営委員会（6人）	
◎ 木 村 繁	○ 伊 部 良 美
笠 原 秀 樹	佐々木 一 郎
藤 野 菊 信	南 ゆかり

議会広報特別委員会（7人）	
◎ 吉 村 春 男	○ 高 田 浩 樹
北 島 忠 幸	木 村 繁
伊 部 良 美	齋 藤 稔
南 ゆかり	

一部事務組合・広域連合議会議員 副：組合議会副議長 監：組合議会監査委員 代：代表者

鯖江・丹生消防組合議会議員（4人）	
副 佐々木 一 郎	笠 原 秀 樹
監 田中 太左工門	伊 部 良 美

鯖江広域衛生施設組合議会議員（4人）	
代 笠 原 秀 樹	北 島 忠 幸
齋 藤 稔	藤 野 菊 信

福井県丹南広域組合議会議員（4人）	
北 島 忠 幸	青 柳 良 彦
米 沢 康 彦	南 ゆかり

議会活性化特別委員会（13人全員）	
◎ 佐々木 一 郎	○ 吉 村 春 男

原子力発電安全対策特別委員会（13人全員）	
◎ 高 田 浩 樹	○ 田中 太左工門

公立丹南病院組合議会議員（4人）	
代 吉 村 春 男	木 村 繁
佐々木 一 郎	高 田 浩 樹

後期高齢者医療広域連合議会議員（1人）	
青 柳 良 彦	

各種協議会等議会選出委員

総合振興計画審議会委員（1人）
高 田 浩 樹

民生委員推薦会委員（1人）
田中 太左工門

地域公共交通会議委員（1人）
佐々木 一 郎

国民健康保険及び介護保険運営協議会委員（4人）	
佐々木 一 郎	田中 太左工門
米 沢 康 彦	高 田 浩 樹

児童館運営委員会委員（1人）
南 ゆかり

介護保険事業計画策定委員会委員（1人）
吉 村 春 男

健康づくり推進協議会委員（2人）	
南 ゆかり	高 田 浩 樹

社会福祉協議会理事（1人）
青 柳 良 彦

越前町国民健康保険織田病院運営協議会委員（1人）
青 柳 良 彦

えちぜん男女共同参画まちづくり推進員（1人）
吉 村 春 男

泰澄の杜運営協議会委員（2人）	
笠 原 秀 樹	青 柳 良 彦

道の駅「パークイン丹生ヶ丘」運営協議会委員（2人）	
青 柳 良 彦	高 田 浩 樹

道の駅「越前」運営委員会委員（2人）	
吉 村 春 男	米 沢 康 彦

越前がにミュージアムマーケット棟運営協議会委員（2人）	
伊 部 良 美	藤 野 菊 信

オタイコ・ヒルズ及び織田陶房「わづみ館」運営協議会委員（2人）	
齋 藤 稔	南 ゆかり

悠久ロマンの杜運営協議会委員（2人）	
齋 藤 稔	佐々木 一 郎

農林水産物等流通促進施設「おもいでな」運営協議会委員（2人）	
木 村 繁	田中 太左工門

都市計画審議会委員（4人）	
吉 村 春 男	北 島 忠 幸
笠 原 秀 樹	田中 太左工門

空き家等対策協議会委員（1人）
藤 野 菊 信

景観計画策定委員会委員（1人）
伊 部 良 美

学校給食センター運営委員会委員（2人）	
吉 村 春 男	笠 原 秀 樹



議会広報特別委員

条例

越前町国民健康保険条例の一部改正について

医療給付費の増に伴う国民健康保険事業費給付金の増加で、財政収支の均衡を保つために税率を改正したため、条例の一部を改正した。

越前町営住宅条例の一部改正について

老朽化により解体を行った町営住宅（気比庄第1団地・内の宮団地）の用途廃止に伴い、条例の一部を改正した。

越前町営体育館条例の一部改正について

老朽化および耐震性不足により利用者の安全性が確保できなくなった越前町営織田体育館の供用廃止に伴い、条例の一部を改正した。

連携協約の締結

福井市及び越前町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について
福井市および越前町が連携して、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域経済を持続可能なものとし、地域住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域を形成するため協約を締結した。

予防接種事業

(風しん抗体検査予防接種)

(委託料 他)

305万4千円

大都市圏を中心に、30代から50代の男性の風しん患者数が増加していることより、感染拡大防止のため、風しん予防接種委託料等を計上。

医療機器等整備事業

(器械備品購入費・工事請負費)

5,000万円

織田病院において、経年により老朽化している医療機器の更新と手術室の空調設備の入替えを行うため、器械備品購入費等を計上。

園芸産地総合支援事業

(負担金補助及び交付金)

733万3千円

営農集団や認定農業者が必要な共同利用機械や施設の整備等に助成し、越前水仙等の生産拡大を図るため、負担金を計上。

定置・底曳網漁業振興対策事業

(負担金補助及び交付金)

6,950万円

漁業経営体の経営基盤を強化し、生産量増加に向けた活動を支援するため、定置網の改良や底曳網漁業の漁船の建造にかかる負担金を計上。

平成30年度補正予算

除雪事業

(備品購入費 他) 2,429万2千円

社会資本整備総合交付金を受け、冬期間の安全・安心な交通の確保を図るため、除雪ドーザ(11t級)の購入費を計上。

中学校改修事業

(委託料・工事請負費)

8,995万6千円

冷房設備対応臨時特例交付金を受け、熱中症対策のため、4校の中学校の特別教室等に空調設備を整備するため、工事費等を計上。

当初予算

本庁舎整備事業

(委託料・工事請負費 他)

12億5,336万円

(本庁舎建設工事は3ヶ年の継続費で、平成30年度工事請負費等は8億9,520万円、令和2年度工事請負費等は1億5,356万円)
耐震性能が確保された本庁舎の建替えのため、今年度も工事費等を計上。

漁港施設機能強化事業

(工事請負費)

4,200万円

白浜(城崎)漁港の離岸堤改良工事を施工し、津波や高潮などによる災害に備え、安全安心な生活環境を確保するため、工事費を計上。

漁港施設機能増進事業

(工事請負費)

2,000万円

米ノ浦漁港の泊地および船揚場の水深が浅く、干潮時の航行や船揚げに支障をきたしており、船揚場を改修し航行や船揚げ作業の安全を図るため、工事費を計上。

社会資本整備総合交付金事業

(委託料・工事請負費)

2億1,000万円

社会資本整備総合交付金を受け、道路網の構築や冬期間の交通の確保、道路構造物の長寿命化を図るため、工事費等を計上。

○橋梁、トンネル点検 2,300万円

○橋梁修繕(上戸橋他) 4,800万円

○消雪装置(辻上野2号線)

4,400万円

○トンネル修繕(越知隧道)

1,000万円

○道路改良(宝泉寺G線他)

8,500万円

人口ビジョン改訂・総合戦略策定事業

(委託料)

693万円

「総合戦略」の計画期間が今年度で終了するため、新たに策定するとともに、平成27年に併せて策定した「人口ビジョン」を町の実情に沿ったものに見直しするため、委託料を計上。

文化的景観保存計画策定事業

(委託料 他)

287万9千円

本町をはじめ福井市や南越前町にまたがる越前海岸の越前水仙群を、令和2年度を目標に「重要文化的景観」の認定を受けるための保存計画の検討・策定に、委託料等を計上。

集落活性化支援事業

(備品購入費 他)

1,561万6千円

各集落で実施されている集落活動の維持・活性化を支援、また自主的に除雪活動を行うために必要となる購入費を計上。

(事業内容)

- ・担い手の育成
- ・小規模・高齢化集落の機能維持
- ・地域の実状に応じた集落活性化

プレミアム付商品券事業

(印刷製本費 他) 1,000万5千円

消費税引き上げによる低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を考慮し、プレミアム付商品券を販売するた



天神橋架け替え工事現場踏査

簡易水道施設整備事業

(工事請負費)

8,532万円

血ヶ平地区送水ポンプ施設改良工事を、2ヶ年での建設を計画しており、今年はポンプ施設の地盤改良・造成工事・送水管布設工事を施工するため、工事費を計上。

また道路改良工事に伴い、梅浦川取水場取水管を移設する必要があるため、移設に伴う工事費を計上。

○血ヶ平地区送水ポンプ施設改良工事

8,232万円

○簡易水道施設改良工事

300万円

水の安全・安心基盤整備事業

(委託料)

3億2,186万3千円

浄化センターの機械・電気設備を更新するため、改築工事業務委託料を計上。

め、印刷費等を計上。

旧織田児童館整理事業

(委託料・工事請負費)

3,705万9千円

織田児童館が織田保育所の敷地内へ移転したことにより、旧織田児童館を解体するため、工事費等を計上。

認定こども園施設整備事業

(負担金補助及び交付金)

1億5,817万2千円

保育所等整備交付金等を受け、西徳寺保育園が認定こども園へ移行する移転改築に要する費用の一部を補助するため、負担金を計上。



認定こども園施設整備現場踏査

また老朽化の進む管路施設の調査・点検により状況を把握し、劣化箇所の修繕を進めるため、委託料を計上。

社会教育施設耐震化事業

(委託料・工事請負費)

8,183万8千円

災害時の避難所となる町生涯学習センターおよび多目的ホールの吊り天井の耐震改修工事を行うため、工事費等を計上。

ホッケー場改修事業

(工事請負費 他)

1億7,329万8千円

ホッケー場コートの人工芝張替えのため、工事費を計上。

旧学校給食センター整理事業

(委託料・工事請負費)

1億3,182万4千円

統合学校給食センター建築に伴い、4地区の旧学校給食センターの解体工事を行うため、工事費等を計上。

人事

次の方の任命について、全会一致で同意した。

教育委員会委員

寺 阪 眞氏(内郡 再任)



夜間の防犯隊パトロール実施

越前町防犯隊織田地区支隊において、地域の人口減少や高齢化により防犯隊員の確保が困難となり、7支隊から4支隊に統合。この組織の改編に伴い、条例の一部を改正。

条例

平成30年度越前町一般会計補正予算
小学校改修事業（委託料・工事請負費）
5,408万4千円
熱中症対策のため、7校の小学校の音楽室に空調設備を整備するため、委託料と工事費を計上。

専決処分の承認

第1回臨時会

会期：4月12日

第1回臨時会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度越前町一般会計補正予算(第12号))	全会一致可決
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (越前町防犯隊設置条例の一部改正について)	//
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (越前町税条例等の一部改正について)	//
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (越前町過疎振興対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について)	//
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて (原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について)	//
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて (平成31年度越前町一般会計補正予算(第1号))	//
同意第2号	越前町監査委員の選任について	//



越前町過疎振興対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
地方税等の一部改正に伴い、条例の一部を改正。
今回の主な改正内容は、町民税において、単身児童扶養者を非課税措置の対象として追加すること。令和3年度以後適用するもの。
また軽自動車税において、一定の環境性能を有する三輪車及び四輪車のグリーン化特例の適用期限を2年間延長し、電気自動車に関しては更に2年間延長するもの。

越前町税条例等の一部改正について

原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について
地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、固定資産税の不均一課税の適用期間を2年間延長するもの。

3月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//
報告第3号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//
議案第1号	越前町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第2号	越前町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について	//
議案第3号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第4号	越前町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	//
議案第5号	越前町児童館条例及び越前町子育て支援センター条例の一部改正について	//
議案第6号	越前町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	//
議案第7号	越前町父子家庭医療費の助成に関する条例の廃止について	//
議案第8号	越前町営住宅条例の一部改正について	//
議案第9号	越前町営体育館条例の一部改正について	//
議案第10号	越前町営プール条例の一部改正について	//
議案第11号	福井市及び越前町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	//
議案第12号	町道路線の認定について	//
議案第13号	町道路線の変更について	//
議案第14号	平成30年度越前町一般会計補正予算(第11号)	//
議案第15号	平成30年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第16号	平成30年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	//
議案第17号	平成30年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第18号	平成30年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第7号)	//
議案第19号	平成30年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	//
議案第20号	平成30年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第6号)	//
議案第21号	平成30年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第22号	平成30年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第23号	平成30年度越前町上水道事業会計補正予算(第5号)	//
議案第24号	平成31年度越前町一般会計予算	//
議案第25号	平成31年度越前町国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第26号	平成31年度越前町介護保険事業特別会計予算	//
議案第27号	平成31年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議案第28号	平成31年度越前町簡易水道事業特別会計予算	//
議案第29号	平成31年度越前町公共下水道事業特別会計予算	//
議案第30号	平成31年度越前町集落排水事業特別会計予算	//
議案第31号	平成31年度越前町温泉事業特別会計予算	//
議案第32号	平成31年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算	//
議案第33号	平成31年度越前町土地区画整理事業特別会計予算	//
議案第34号	平成31年度越前町上水道事業会計予算	//
議案第35号	平成31年度越前町国民健康保険病院事業会計予算	//
議案第36号	越前町役場本庁舎建設(建築・電気設備)工事請負契約について	//
議案第37号	越前町役場本庁舎建設(機械設備)工事請負契約について	//
同意第1号	越前町教育委員会委員の任命について	//



田中 太左エ門 議員



木村 繁 議員

いっぱん 質問



一般質問とは

議員が行財政全般にわたって町に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの

訪日外国人旅行者（インバウンド）に農泊体験を

木村

日本を訪れる訪日外国人旅行者（インバウンド）は、昨年初めて3,000万人の万台を超え、その消費額も過去最高を記録した。今やインバウンド観光は日本経済、そして地方創生と地域活性化には必要不可欠である。

本町の第2次総合振興計画では、外国人観光客の誘客を促進すると共に、受入れ態勢の整備充実を図るとある。そこで、インバウンドを誘致するうえで有効な手段と考えられる農泊（農林漁村の民家に宿泊し、農林漁業の体験をする形態）での今後の受入れ体制について町長に伺う。

町長

本町においてのインバウンド数は、年々増加傾向にあり、国別ではアジア諸国が多い。

2、3度日本を訪れるリピーターは、有名な観光地を訪ねたりする「物見遊山型観光」から日本の伝統的な生活や文化に触れる「着地型観光」へと志向が変わってきている。本町は古くからの日本の生活文化を堪能できる町であり、海や山など豊かな自然もあり、定置網漁の見学や和太鼓体験など、体験型観光をキーワードに取り組んでいきたい。

木村

福井市の自然体験交流推進協議会、殿下里づくり組合、越前市の口ハス越前の3団体で構成されている「教育旅行ふくい」は、農家民泊を勧める嶺北の3団体の窓口を1本化して、台湾やアメリカの高校生を年に数回受入れている。今後更に受入れ地区の拡大を図ることだが、本町との連携について町長に伺う。

町長

町観光連盟は昨年10月から、同団体の準会員の池田農村観光協会と、岐阜方面からの教育旅行誘致について検討を重ねている。また、北陸新幹線県内延伸に向けた首都圏からの誘致も取組んでおり、今後交流人口の拡大を図りながら、地域の活性化を目指していきたい。



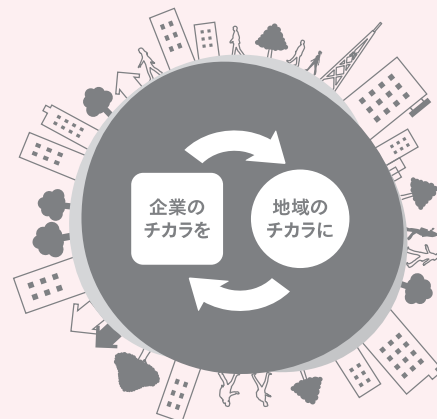
企業版ふるさと納税の取組みは

木村

この納税制度は、民間企業の方から積極的に地方創生を応援していただけるよう、平成28年度税制改正において創設された。寄附を受けるためには、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業を盛り込んだ地域再生計画を作成し、内閣府から計画の認定を受け、その上で企業から寄附を募るものだが、今後の企業版ふるさと納税の取組みについて町長に伺う。

町長

全国の寄附の実績は、平成29年度で23億5千万円となっており、個人ふるさと納税と比較すると1%にも満たない。これは、企業版ふるさと納税制度が十分に浸透していないことに加え、節税効果はあるものの、個人ふるさと納税のように、全額控除や返礼品という強力なインセンティブがないことも原因ではないか。また、認定基準も厳しかったため認可されにくく、本町も不採用となった経緯がある。とはいってもの財政が厳しい状況において、歳入財源となり得る制度については、積極的に取入れていく。



木村

県内外の企業版ふるさと納税認定状況について、聞きたい。

町長

全国の企業版ふるさと納税の認定件数は、平成28年度から平成30年11月までの約3年で合計507件、総事業費で1,251億円の事業が認定されている。県内では、県と5市にとどまっている。本町としても、将来にわたって存続できる社会を構築していくためには、各界各層の参画と本町にゆかりのある企業に協力を仰ぎながら、前向きに取組んでいく。

工場誘致で雇用機会の創出

田中

雇用機会の創出として工場誘致も考えられるが、現状としてどのような施策を実施しているのか。また、効果や次年度への対策について伺う。

町長

平成27年度に町企業立地促進条例を制定し、用地取得や建物建設等に対する補助制度を設け企業立地を促進し、労働環境の充実と定住人口の確保を図った。また、平成28年度に町内企業や経済団体、丹生高校等教育機関の委員で構成する「ふるさと越前町しごとの創生懇談会」を設置し、労働環境等に関する情報や意見交換を深め、地元の若者が地元で就職できる環境づくりの促進を図っている。

企業誘致については、朝日南部工業団地に㈱東京セロレーベルが今年7月から工場建設に着手し、令和2年度創業予定となっている。また田中地係ではインクス㈱が工場を増設し、4月から創業を開始する予定となっている。

田中

今後の課題を考察し、次年度に向けてどのような対策を検討し、企業にアプローチするのか。



ふるさと越前町しごとの創生懇談会

町長

町内に働く企業があれば、住民が住むことによって人口の増加と税収の確保が見込まれ、活性化のためには企業誘致は大変重要な施策である。

現況下では、工業団地整備等の大型事業は検討していないが、新たに工場等の進出を検討している県内外の企業に対しては、町内の空き地や空き工場を登録する「空き地空き工場バンク制度」を新たに検討し、町のホームページで紹介するなど、積極的に取組みながら町の施策を展開していきたい。また、町内企業の支援や協力は継続すると共に、さらにその内容の充実を図りたい。

観光行政の見直し

田中

観光行政について「観光立町を目指した観光産業の育成」と述べているが、観光施策の成果をどう総括しているのか。

町長

観光産業は旅館業や飲食業といった特定の分野だけでなく、製造業、農林水産業など裾野の広い産業であるため、観光消費による地域全体の経済効果を図る上で、重要な産業だと考えている。

町内観光入込み客数は、年々増加し平成29年で約22.9万人、観光消費額は約93億円になる。

田中

次年度に向けて、重点的な施策は検討しているのか。

町長

観光資源を掘り起こし、お勧め観光素材を組み合わせた体験型観光を提供し、インバウンド誘致には、インスタ映えするようなスポットを幾つか設定し、観光客を周遊滞在させ交流人口を増加させる。また、町内観光施設の充実も図り、おもてなしの心を育むため観光連盟と連携して、人材育成の研修にも力を入れる。さらに北陸新

幹線県内延伸を見据え、JR駅等からの2次交通対策も重要施策として、近隣市町と広域的に取組んでいく。

田中

今後の越前陶芸村の再整備について伺う。また、国道365号の花壇にはハナミズキが植樹されているが、陶芸村入り口はサザンカが植樹されたが何故か。

町長

サザンカを植樹したことは初めて聞いたので、調べておく。また陶芸村の再整備については、民間の方と意見交換を実施しながら、にぎわいを出したいと考えている。また、県の新ふるさと創造推進事業を活用し、施設改修工事を実施していく。

田中

町内には越前水仙があり、陶芸村の桜やプラントピアには見所となる花もあるので、花という切り口から一年中足を運んで頂けるような、観光戦略を検討してもいいと思う。再度、観光施策の検討をお願いする。



高田 浩樹 議員



青柳 良彦 議員

いっぱん 質問

老朽化する施設の行く末は？

青柳 254件ある公共施設の二元的管理の考えは。

総務理事

管理方針については、越前町公共施設等総合管理計画を策定したが、具体的な計画は記述されていない。現在、個別施設計画や長寿命化計画を担当課で作成しているところ。一元的管理をするためには、組織の横断的な調整会議等を設置しなければならないと考えている。

青柳

今後大きな負担となる施設の更新・修繕・解体・建替え等の財源の確保は。

総務理事

現在、解体等の費用は一般財源で賄われているが、施設を統合し新施設を建設する場合は、国庫補助金が申請でき、また新町建設計画に記載されていれば、合併特例債も充当できる。また、公共施設等適正管理推進事業債も計画があれば充当できる。

青柳

施設更新費用を捻出するための基金創設の考えは。

総務理事

財政状況が厳しい中、一般会計予算は財政調整基金（財調）を取り崩して歳入歳出の調整を図っており、現時点で施設更新の為の新基金創設は、財調から新基金へ現金を異動するだけのことになる恐れがある。

青柳

遊休町有地の売却代金を一時的に財調に入れておいて、必要になった時に使うという方法もあるのでは。

総務理事

普通財産であれば可能であるが、基金については検討する必要がある。

青柳

人口構成の変化による施設の余剰又は不足が予測できるが、施設の転用、利活用についての構想は。

総務理事

施設の中には、耐震強度がないため、解体せざるを得ないものも多いが、転用することで他の施設として再利用が可能な施設もある。公の施設の管理運営方針でも、譲渡・転用・廃止といった分類で

方針を立てているが、実態と合わない部分もあるので見直しが必要と考えている。

青柳

譲渡、転用、廃止といった3つの分類だけで方針を立てるのではなく、そのまま活用可能なのか、活用が限定されるのか、少し調整しなければならぬのかといった分類も必要なのではないか。

総務理事

前向きに検討していく。

青柳

施設の統廃合は避けられないが、必要な施設は建設しなければならない。その場合の方針は。

総務理事

多くの方から意見を聞き、様々な視点から検討し、地元のコンセンサスを得た上で建設しなければならない。

また、基本となる越前町総合振興計画や越前町立地適正化計画等に掲げた理念に合致するような施設を検討する必要がある。

青柳

多くの困難を伴う公共施設改革

障がい者福祉について

計画策定、運用の在り方は？

高田

本町の障がい者福祉関連計画の策定、運用の在り方は。

民生理事

計画策定には、当事者、家族会、医療福祉関係者等を交えた委員会で見をいただいている。次回策定時には、当事者の意見をさらに盛り込むよう検討している。

運用については、計画の改善につながるよう評価委員会の設置、ホームページでの公表を考えている。

サービス利用の環境づくりは？

高田

障がい者福祉サービス利用に関し、環境づくりは。

民生理事

サービス利用のしやすい環境づくりのためには、情報提供が大切で、役場窓口での丁寧な説明やわかりやすいパンフレットを作成している。また、共生社会講座等を実施し、広報紙やホームページで情報提供や意識啓発を行っている。

タウンミーティング等の取組みは？

高田

障がい者福祉について、当事者や

に対する町長の意気込みは。

町長

公共施設の改革は、本町にとって避けて通れない重要な案件であると認識している。

公共施設の多くは、築30年から50年近くが経過し、維持管理費が年々増加する傾向で、財政を圧迫している。また、4町村が合併したことから、小規模で同様な施設が複数存在し、施設を維持するだけの利用料収入も見込めない状況にある。

本町が将来にわたって健全な財政を維持するためには、公共施設の適正管理方針や管理計画に沿って対処すべきである。公共施設改革には痛みを伴うが、町民の皆様の理解をいただきながら、積極的に取り組んでいきたい。

青柳

公共施設の利活用については、若い職員の柔軟な発想による意見やアイデアを吸い上げながら、改革に取組んでいただきたい。

家族、関係団体、一般の方などを含めたタウンミーティング等の対話の取組みは。

民生理事

タウンミーティングは実施していないが、障がい者との協働型社会の推進のためには、大変有効であると認識している。

現在、担当課の職員が直接本人や家族と対話を行ったり、関係部局が障がい者団体の会議などに出席したりして意見を聴いている。

今後対話の取組みとして、計画策定時や障がい者団体の総会などで機会を設けていきたい。

今後の取組みは？

高田

今後の障がい者福祉の取組みは。

町長

本町の障がい者福祉に関するニーズを把握し、取組んでいくため、計画策定や進捗状況などを検証する委員会等を設置して、当事者の方や家族の意見も取り入れられるよう要綱等を整備していきたい。

本町の障がい者福祉においては、「地域とともに安心して暮らせるまち」を基本理念とし、障がい者の自立と社会参加を支援し、地域共生社会の実現に向けて取組んでいきたい。



佐々木 一郎 議員



南 ゆかり 議員

いっぱん 質問

新庁舎には、どのようなユニバーサルデザインが取り入れられている？

高齢者や障がい者、妊婦さんへの配慮

南
高齢者や障がい者への配慮、また車椅子の貸し出しはあるのか。

総務理事

新庁舎正面入り口までの歩行者通路に誘導ブロックを設置し、車椅子用駐車場から玄関まで雨避けのひさしをつける。車椅子は、従来どおり貸し出しを予定している。床はフラットで、各廊下に手すりを設置。3階議場にはスロープのある車椅子用傍聴席を設置する。エレベーターは2基設置、階段は緩やかで、手すりには点字びょうを設置する。待合ロビーはゆとりあるスペースを確保し、ローカウンターの受付。各課の表示を色分けして配置案内図を随所に設置し、ピクトサイン（絵文字表示）で来庁者がわかりやすく認識しやすい配置を計画している。

南

小さい子供を連れた方、妊婦さんへの配慮はあるのか。

総務理事

1階に授乳室を設け、授乳用椅子やベビーベッドのある個室を設置する。1階の待合ロビー内には、子供のキッズスペース（遊び場）を設ける。1階から3階までのトイレ内に、ベビークチェアを設置する。

外国人への対応

南
外国人への対応は。

総務理事

各課、会議室の名前などの案内表示は日本語と英語の2カ国語で表記する。エレベーター内のアナウンスも、日本語と英語の2カ国語だが、緊急時には中国語、韓国語でも対応する。また今後状況が変われば、言語表示は柔軟に対応していく。

南

コミュニケーション支援アプリ「UDトーク」を活用する方法などもある。これらの無料アプリは年々急速に技術が進化し、さまざまな機能が充実しているのを検討してほしい。

議場内で、初の手話通訳

今回南議員の一般質問で、議員から議場内で手話通訳を行いたいと要望があり、議長の許可を受け、聴覚に障がいのある人の傍聴に対し、手話通訳者により手話通訳を行った。傍聴の方からは「議場の様子と手話を同時に見ることができたので良かった。ありがとう。」と感想を述べられた。

庁舎に手話通訳者設置を

聴覚障がい者の意思疎通事業

南
聴覚障がい者個人のスマートフォンやタブレットから庁舎設置のタブレットにつなげられるのか。

民生理事

問い合わせは可能である。タブレットは、遠隔の手話通訳だけでなく、障がい者との意思疎通に利用できる。

南

聴覚障がい者の社会参画が広がるよう、アクセスの方法など必要ならば講習会を開いてほしい。

手話通訳者設置の必要性

南

聴覚障がい者は、手話通訳者を庁舎内に置いてほしいと望んでいるが、今後の計画は。

町長

庁舎窓口での手話通訳利用者は少なく、また手話通訳者の数が限られている中で人材の確保は難しい。このような現状から、まずは手話奉仕員を増やしていく方針。

南

庁舎窓口での利用が少なかったのは、行きにくい点があったのでは。一人一人手話表現も癖も違い、それぞれの手話表現を理解し読み取る技術や、福祉行政の内容や手続などを詳しく伝えられる通訳者が必要である。予約制にするなど、試験的に取組むことも検討してほしい。

町の手話言語条例策定に向けて

南
近隣の自治体では手話言語条例を策定しているが、県内の策定状況はどうか。

民生理事

県では平成30年4月に制定した。勝山市、大野市が制定済み。福井市、坂井市が今年4月に施行。鯖江市は、来年度以降制定予定。

南

策定にむけての今後の対応は。

町長

町の第3次越前町障がい者計画でも、基本理念として、誰もが障がいの有無にかかわらず、地域とともに安心して自分らしく生きがいを持って暮らせる町を目指していることから、近隣市町の状況や町の現状・課題の把握に取り組んでいく。

今後のユニバーサルデザイン

南

ユニバーサルデザイン推進に、どのような考えがあるのか。

町長

ハード面では、新庁舎において、ピクトサインなどユニバーサルデザインに基づいた誘導サインや、バリアフリー新法の基準を満たす整備など進めていく。ソフト面では、手話だけでなく筆談やコミュニケーションボードを利用して意思疎通を図り、誰もが安心して気楽に相談できるよう努めていく。

剣神社周辺の再整備計画の進捗状況と活性化に与える影響は？

佐々木

平成29年度一般会計予算において、剣神社周辺再整備事業として500万円の委託料が計上されてから2年が経過するが、事業の開始年度、事業期間など再整備事業計画の進捗状況について伺う。また、この事業の地域の活性化に与える影響力はどれくらいなのか。

町長

剣神社周辺再整備計画は、平成29年3月に策定した「越前町交流拠点施設再整備基本構想」で掲げた、剣神社を核とした町並み整備と集客力、回遊性の向上を目指すものである。

委託料の一部は、剣神社周辺整備支援研究として福井高専の環境都市工学科に委託し、地元の人たちによる剣神社周辺のまちづくり活動の支援を行った。またプロジェクト会議、住民懇談会であるまちづくりミーティング、豊川稲荷門前町などの先進地視察、女性対象にユルトークなどを開催し、地元の方から意見を収集してきた。

平成30年度においても、同様の会議とワークショップも実施した。まちづくりミーティングでは、

「剣神社周辺には多くの魅力はあるが、点在しているので十分活用されていない」「案内サインを整備すべき」「駅前通りに設置しているデザイン街路灯を、神社前通りにも設置しては」などの意見があった。また、「喉が渇いても休憩する場所がなく、土産物を買う店もない」といった意見も出ている。

現在コンサルタントで行っている剣神社周辺整備支援業務では、こういった意見を取りまとめて、整備事業の認可申請のための基本計画を作成している。今後はこの基本計画を実施するため、最適で財政負担の少ない事業を選択し、国や県に対し採択を要望していきたい。このため、整備事業も未定で、事業の開始年度についても、認可年度の翌年度からの着手で、実施期間は5年程度を想定しているとし、か申し上げられない。

この事業の影響力の効果は、地元の人達が誇りと愛着の持てるふるさとへの創出が図られ、おもてなしの心で、交流人口の拡大が期待できることが挙げられる。いづれも地域のにぎわいの復興に寄与できるものと考えている。いづれにしても、町民の主体的

な取組みがまちづくりの基本であり、多くの人に参画していただくことが大事であると考えている。このため、意見の収集と取りまとめに不測の日数を要しているが、慎重に議論を重ね時間をかけて取り組んでいきたい。

佐々木

剣神社を中心とした「門前町づくり」は、剣神社、越前町、それから地域の方々の力が結集しなければ、なかなか難しいと思う。

剣神社周辺の再整備事業については、剣神社を中心とした町の活性化になると思うので、町長として先頭に立ち、強いリーダーシップを持って計画を実施してほしい。このことについて、強い決意を聞かせてほしい。

町長

本町は観光立町ということで掲げており、その核になる一つが剣神社だと思っている。織田信長ゆかりの神社ということで、非常に全国的にも興味を持っている方はたくさんいるので、町として満足してもらえようような体制づくりをしたい。



まちづくりミーティングの様子

佐々木
計画がすばらしいものになるよう、町民皆が希望している。

平成
31年

行事あれこれ

1月13日 日

越前消防団 出初式

宮崎コミュニティセン
ター周辺・丹生分署



一斉放水始め



さあ 出発！



給食の説明会



栄養満点の給食

1月25日 金

学校給食 センター 給食試食会

学校給食センター

3月24日 日

水仙岬の かがやき

越前岬水仙ランド



幻想的なイルミネーション



ペットボトルの取付け



織田児童館落成式



テープカット

3月26日 金

織田児童館 落成式

サンライズ織田

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

12月15日～4月12日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻早退 ()は欠席の理由

月日	曜日	諸 会 合 名	北島 議長	笠原 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	米沢 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	青柳 議員	木村 議員	吉村 議員
12	25	火 鯖江・丹生消防組合臨時会	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
	4	金 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	13	日 平成31年越前町成人式 平成31年越前消防団出初式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	火 議会広報委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
	23	水 議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
	4	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	金 公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
2	12	火 丹南広域組合議会全員協議会・定例会	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—
	15	金 鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	—	—	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—
	18	月 鯖江・丹生消防組合議会定例会	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
	22	金 議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	×	(葬儀)	○	—
	4	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	水 3月定例会 本会議（1日目）	×	(公務)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	木 議会運営委員会 3月定例会 本会議（2日目）・全員協議会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
	8	金 3月定例会 本会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	11	月 3月定例会 全員協議会（現場踏査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火 平成30年度 町内中学校卒業式 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	水 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	木 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	金 平成30年度 町内小学校卒業式 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	月 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	水 3月定例会 本会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	火 原子力発電安全対策特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	1	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	火 議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
	12	金 議会運営委員会 臨時会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○

自治功労賞受賞

3月定例会終了後、全国町村議会
議長会自治功労賞の表彰状伝達式が
行われました。

議会議員27年以上在職者

吉村 春男 議員

地方自治の振興発展に大きな役割
を果たされてきたことに敬意を表し
ます。





2年半ほど前から健康増進を目的に、当初15人で太極拳を始めました。現在の会員数は約30人で、50歳代から80歳代まで幅広く参加しています。

越前町生涯学習センターでは毎週水曜日、糸生分館では毎週金曜日いずれも午前9時30分から11時まで活動しています。会費は月額1,000円です。

皆さんのご紹介を
お願いします

がんばってます!

太極拳
さざんかタイティー

活動の特徴について 教えてください

太極拳は、筋力維持や風邪予防などの健康増進はもとより、バランス感覚の向上や姿勢が良くなるなどの効用もあると言われています。

身体に優しい太極拳ですが、体調に十分に配慮し無理をしないように行っています。

これまで、福井国体の開会式や朝日地区総合文化祭に出場していますが、福井国体での雨の中で演舞したことは特に思い出深いです。



最後に一言お願いします

将来の目標は、野外イベントの参加や、ねんりんピックに出場したいと思っています。

新規会員を募集しており、自由見学や無料体験も実施しています。毎週「優しく、楽しく、仲良く」活動していますので、一緒にやりましょう!

(インタビュアー 高田)

お問い合わせ

代表 孝久和恵

☎ 34-2000 (生涯学習課)



傍聴席へどうぞ 次の議会は6月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

今年の長いゴールデンウィークを、皆様いかが過ごされたでしょうか。

日本の元号が「平成」から「令和」に変わり、新しい時代への始まりを感じています。

当議会も4月の臨時会にて議会構成が変わり、新たな議長・副議長が就任し、議会広報特別委員会のメンバーも4名替わりしました。心新たに、更に皆様に親しまれ、読みやすい「議会だより」を発行して参りたいと思いますので、皆様のご意見やご要望がございましたら、是非お寄せください。

巻末ページ、がんばってますコーナーでは、町内で活動しているユニークなサークルを紹介しております。自薦他薦は問いませんので、ご連絡をお待ちしております。

(吉村)

議会広報特別委員会

委員長 吉村 春男

副委員長 高田 浩樹

委員 北 島 忠 幸

木 村 繁

伊 部 良 美

齋 藤 稔

南 ゆかり

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

